

●京都府立堂本印象美術館（指定管理者）

<p>前回検証結果</p>	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堂本印象の価値を高める取組、利用実態や採算性を踏まえた運営マネジメントにより、幅広い層の利用を促進する取組を行うこと。
<p>対応・改善策実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸団体と連携して地域の振興と活性化を図ることで、立地する地域における美術館の存在価値を高める取り組みを実施中。 ・堂本作品以外の作品展示にも積極的に取り組んでおり、幅広い層の利用を促進。 ・隣接する立命館大学と連携して美術館の利活用を共同で検討し、大学のクラブによる展示やイベント利用を促進するとともに、グッズの制作、広告作成などにも取り組み、新たな美術館利用者の創出に努めている。
<p>取組の結果</p>	<p>◇コロナ禍で減少した利用者数、利用料金収入は回復傾向にある。</p>
<p>なお残る課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆有料利用者の更なる増加が必要（利用者の多くは無料の65歳以上）。 ◆リニューアル後、継続した集客の手法の検討が必要。 新たに取り込む利用者（大学生・一般観光客・外国人）の集客に向けた取組等が必要。
<p>府民サービス等改革検討委員会による改善意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □外国人を含む観光客を取り込むことを検討されたい。 □堂本印象ブランドを高めるようなグッズ作成や広報を引き続き強化すべき。 □入館料の見直しや貸館としての活用などを含めた新たな収入確保対策が必要。 □展示品の撮影許可の緩和や休憩スペース、カフェの併設など、近年、美術館では当たり前になってきていることについて実施を検討されたい。
<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p>要改善</p> <p><改善方策></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎引き続き、堂本印象の価値を高めながら、貸館利用、写真撮影可能な作品展示など、より柔軟な施設運営を行うこと。 ◎外国人を含む観光客を取り込む工夫や認知度向上に繋がる取組を推進すること。 <hr/> <p><今後の対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体と連携しながら、堂本印象美術館の魅力向上を図り、利用促進や収益確保に向けた取組を推進する。